



2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 IMV株式会社
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 淳平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 濱里 一也
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東
 TEL 06-6478-2565

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	6,343	12.3	701	5.5	682	3.7	511	11.7
2018年9月期第2四半期	5,647	2.3	665	22.2	658	31.1	457	30.9

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 501百万円 (5.9%) 2018年9月期第2四半期 473百万円 (26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	31.54	
2018年9月期第2四半期	28.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	15,940	6,777	41.7
2018年9月期	15,356	6,407	40.7

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 6,652百万円 2018年9月期 6,256百万円

「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年9月期の連結財政状態については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		8.00	8.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	8.6	1,200	39.8	1,200	30.7	780	34.9	48.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	16,957,016 株	2018年9月期	16,957,016 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	735,798 株	2018年9月期	735,598 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	16,221,399 株	2018年9月期2Q	16,214,125 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調にありましたが、設備投資を中心とする企業の生産活動には、一部、陰りも見られています。一方、海外経済におきましては、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速を受けて世界経済及び金融市場への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、日米の自動車業界において、大手メーカーが自動運転車の安全基準策定に向けたコンソーシアムを設立して企業の枠を超えた連携が促進されるなど、全世界レベルでCASE (Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric) と表現される新たなテクノロジー及びモビリティに向けた活動が活性化しています。

このような環境の中、当社グループは、前連結会計年度にベトナムにてIMV TECHNO VIETNAMを設立し、今後一層の成長が期待される東南アジア地域において、弊社主力製品である振動シミュレーションシステムの販売、メンテナンスサービス及び試験受託を開始いたしました。また、当第2四半期連結累計期間においては、埼玉県入間市に設立した日本高度信頼性評価試験センター (e-TCJ) が操業を開始し、電動車両用機器及び部品の新環境試験規格 (IS019453) や各社独自規格に全対応するべく、自動車及び自動車部品メーカー様向けに振動試験に限定しないサービス拡充を図る等、顧客獲得のための様々な取組みを行ってまいりました。さらに、愛知県春日井市にも新たな受託試験センター (春日井テストラボ) を開設し、中部エリアにおける新たな需要の取込みを進めております。

以上の結果、当社グループの売上高は6,343百万円 (対前年同四半期比12.3%増) となりました。利益面では人件費や減価償却費の増加に加えて為替差損が発生したものの、増収効果により経常利益は682百万円 (対前年同四半期比3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は511百万円 (対前年同四半期比11.7%増) となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

国内市場において、お客様に好評価をいただいている恒温槽と、全自動省エネ運転が可能な振動試験装置 (EMシリーズ) を組み合わせた複合試験装置が堅調に推移し、自動車メーカー、車載機器業界、航空宇宙業界及び公設試験研究機関を中心に複合試験装置の売上が伸長しました。さらに電機電子業界向けにおいても大型多軸振動試験装置の売上が計上されました。

海外市場においては、電気自動車関連の試験需要が旺盛であり、欧州、米国及び中国向けに大型の振動シミュレーションシステムの売上が計上されるとともに、東南アジアではエコ仕様の振動シミュレーションシステムの売上が増加しました。

以上の結果、この品目の売上高は4,601百万円 (対前年同四半期比9.1%増) となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

試験対象品の大型化を受け、上野原高度試験センターにおける大型機による試験が伸長いたしました。これに加えて、昨年12月の日本高度信頼性評価試験センター (e-TCJ) に続き、本年1月には春日井ラボ (愛知県春日井市) が稼働を開始しており、前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は1,121百万円 (対前年同四半期比26.6%増) となりました。

(メジャリングシステム)

国内市場において、電力会社や製造プラント向け大型振動監視装置の売上が増加したことに加えて、フィリピンを中心とした海外市場における地震計売上も好調であり、この品目の売上高は620百万円 (対前年同四半期比13.8%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ584百万円増加し、15,940百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ403百万円増加し、9,333百万円となりました。この主な要因は、電子記録債権の増加377百万円、現金及び預金の増加336百万円、仕掛品の減少140百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ180百万円増加し、6,607百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物の増加86百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ215百万円増加し、9,163百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ222百万円増加し、7,462百万円となりました。この主な要因は、電子記録債務の増加220百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ7百万円減少し、1,701百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加19百万円と株式報酬引当金の減少23百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ369百万円増加し、6,777百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加381百万円によるものであります。自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.0ポイント増加し41.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月14日の「平成30年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,672,116	2,008,209
受取手形及び売掛金	4,091,387	4,037,263
電子記録債権	256,647	634,003
製品	252,559	295,428
仕掛品	1,565,558	1,424,642
原材料	767,244	765,475
その他	332,720	176,917
貸倒引当金	△8,613	△8,565
流動資産合計	8,929,622	9,333,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,504,102	2,590,444
土地	1,944,323	1,944,323
その他(純額)	1,064,643	1,197,359
有形固定資産合計	5,513,069	5,732,128
無形固定資産		
のれん	303,685	275,644
その他	61,808	66,780
無形固定資産合計	365,494	342,425
投資その他の資産	547,958	532,952
固定資産合計	6,426,522	6,607,505
資産合計	15,356,145	15,940,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,725,076	1,690,784
電子記録債務	960,455	1,181,455
短期借入金	2,870,000	2,890,000
1年内返済予定の長期借入金	381,572	361,404
未払金	436,410	369,220
未払費用	326,728	231,605
未払法人税等	108,524	256,787
未払消費税等	14,250	50,276
製品保証引当金	90,000	84,000
株式報酬引当金	—	32,260
その他	326,442	314,548
流動負債合計	7,239,460	7,462,342
固定負債		
長期借入金	1,332,550	1,351,848
長期末払金	192,169	192,169
資産除去債務	48,408	46,717
株式報酬引当金	23,576	—
その他	112,302	110,480
固定負債合計	1,709,006	1,701,215
負債合計	8,948,467	9,163,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	563,437	563,437
利益剰余金	5,308,745	5,690,613
自己株式	△159,282	△159,282
株主資本合計	6,177,717	6,559,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,253	79,895
為替換算調整勘定	△13,433	12,928
その他の包括利益累計額合計	78,820	92,823
非支配株主持分	151,139	124,912
純資産合計	6,407,677	6,777,321
負債純資産合計	15,356,145	15,940,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	5,647,071	6,343,898
売上原価	3,705,078	4,358,674
売上総利益	1,941,992	1,985,223
販売費及び一般管理費	1,276,708	1,283,367
営業利益	665,284	701,855
営業外収益		
受取利息	112	455
受取配当金	2,401	2,904
受取賃貸料	21,060	21,000
受取保険金	—	30,000
雑収入	10,670	16,880
営業外収益合計	34,243	71,241
営業外費用		
支払利息	8,114	9,529
為替差損	30,013	72,879
雑損失	2,970	7,747
営業外費用合計	41,098	90,157
経常利益	658,429	682,940
特別利益		
受取保険金	—	55,133
特別利益合計	—	55,133
特別損失		
固定資産除却損	105	0
特別損失合計	105	0
税金等調整前四半期純利益	658,324	738,074
法人税、住民税及び事業税	139,893	237,939
法人税等調整額	50,607	10,784
法人税等合計	190,500	248,724
四半期純利益	467,823	489,349
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,870	△22,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,953	511,639

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	467,823	489,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,326	△12,358
為替換算調整勘定	△7,464	24,589
その他の包括利益合計	5,861	12,231
四半期包括利益	473,685	501,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466,037	525,642
非支配株主に係る四半期包括利益	7,648	△24,061

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	658,324	738,074
減価償却費	215,142	265,472
のれん償却額	20,619	19,786
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,029	△47
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	14,616	8,684
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△37,917	△6,000
受取利息及び受取配当金	△2,513	△3,360
受取賃貸料	△21,060	△21,000
支払利息	8,114	9,529
為替差損益(△は益)	10,601	25,832
固定資産除却損	105	0
売上債権の増減額(△は増加)	△795,467	△343,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△92,126	77,531
仕入債務の増減額(△は減少)	229,375	264,074
その他	△47,990	65,181
小計	153,792	1,100,239
利息及び配当金の受取額	2,527	3,361
利息の支払額	△8,178	△9,222
法人税等の支払額	△252,939	△115,972
法人税等の還付額	3,148	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,649	978,406
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△8,584	△9,052
有形固定資産の取得による支出	△1,009,539	△507,358
無形固定資産の取得による支出	△4,945	△35,337
定期預金の預入による支出	△6,009	△9
定期預金の払戻による収入	—	42,189
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△123,502	—
その他	20,574	23,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,132,006	△485,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	780,000	20,000
長期借入れによる収入	790,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△458,134	△200,870
リース債務の返済による支出	△513	△419
自己株式の取得による支出	△582	—
配当金の支払額	△161,984	△127,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	948,785	△108,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△238	△5,895
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△285,109	378,273
現金及び現金同等物の期首残高	1,757,905	1,374,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,472,796	1,752,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		3,945,417	73.2	4,642,489	72.8	117.7
テスト&ソリューションサービス		891,632	16.6	1,114,782	17.5	125.0
メジャリングシステム		552,030	10.2	619,066	9.7	112.1
計		5,389,080	100.0	6,376,338	100.0	118.3

(受注高実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		4,631,894	74.3	5,244,923	74.7	113.2
テスト&ソリューションサービス		870,732	14.0	1,204,004	17.1	138.3
メジャリングシステム		729,413	11.7	573,640	8.2	78.6
計		6,232,040	100.0	7,022,568	100.0	112.7

(受注残高)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		2,819,383	84.9	3,462,547	86.5	122.8
テスト&ソリューションサービス		175,033	5.2	257,371	6.4	147.0
メジャリングシステム		327,894	9.9	281,062	7.1	85.7
計		3,322,311	100.0	4,000,981	100.0	120.4

(販売実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		4,216,173	74.7	4,601,759	72.5	109.1
テスト&ソリューションサービス		885,749	15.7	1,121,665	17.7	126.6
メジャリングシステム		545,148	9.6	620,473	9.8	113.8
計		5,647,071	100.0	6,343,898	100.0	112.3